

突然の大雨！ネギの湿害対策にはネハリエース

2018/05/08

こんにちは！
ねぎ栽培オンラインサポーターの石原です。

発達した低気圧の影響で、全国的に雨が多く降っていますね。
先日ネギを植えたばかりで湿害が心配という方も多いと思います。
今回は緊急で湿害対策がしたい！という時に使ってもらいたい資材のご紹介です♪

それがこちら！



ネハリエースです。

なんと、地中に酸素が供給できる肥料！
この白い粒が水に溶けると、酸素と消石灰に変化します。
酸素は根に供給され、消石灰によって土の pH を上げ病原菌の活動を鈍くすることも期待できる優れものです♪

畝間に散布するだけで OK なので、急な大雨や長雨で畑に水が溜まりがちな時に使うと根腐れ防止になります。
ネギは特に水を嫌う野菜なので、今回のような天候や台風の後の特にお奨め！

ちなみに、昨年の夏に鹿児島のお客様に使って頂いた結果がこちら。



この畑では夏場の高温多湿によって、農薬で予防していたにも関わらず軟腐病が多発してしまいました。しかし、ネハリエースを使っていた部分(赤旗より左側)では、根張りが強化されていたおかげで大部分のネギが耐えました。

ネギの根張りは抵抗力に直結すると言っても過言ではありません。
土作りはもちろんですが、天候に合わせて資材も上手に活用しましょう♪

<サンプル②>2019年2月10日の内容 (LINE@からブログへの誘導)
<https://www.k-koikeya.co.jp/news/190210-1458.html>

春ネギの抽台を予測してみよう！

2019/02/10

こんにちは！
ねぎ栽培オンラインサポーターの石原です。

立春を過ぎましたがまだまだ寒いですね。
立春後の寒い時期を余寒というそうで、余寒見舞を出す方もいるそうですよ。

さて、そんな季節になってくるとそろそろネギの抽台が気になってきます。
例年だとまだ早いのですが、今シーズンは暖冬だったためか、深谷では早くもネギ坊主(花芽)が控えたネギが出ています。

今月以降収穫する予定のネギがある方は、平均的な大きさの物を一本抜いて、葉を一枚ずつむいてみましょう。
もしネギ坊主の赤ちゃんが見えたら、そこまでの葉を数えることで抽台までの日数を予測できます。

◎ネギ坊主（花芽）の位置を確認して下さい！



葉の展開（3月～4月）

↓

7～10日で1枚（目安）

写真のネギの場合、

4枚×7日＝28日

約1ヶ月後に抽苔してくる可能性が高いこととなります。（遅くても40日後）

・倒れどとでバツキが大きくなることもあるので、1個体で判断せずに平均的な大きさのものを何本か確認して下さい。

ネギ坊主の位置が2枚目にあるようであれば、早めに収穫をして下さい。

すでに展開している(外に出ている)外葉は除いて、1、2、3...と中心部に向かって数えていきます。

気温によりますが、今の時期、葉はおよそ10日で1枚展開するので、赤ちゃん坊主の位置までの葉数×10日＝抽台時期となります。

早めにチェックをして、うっかり取り遅れた！ということがないようにしましょう。